

定例記者懇談会資料

令和3年4月1日の保育所待機児童ゼロ達成

1 概要

- ・島田市の待機児童数（国定義）は、前年度の3人から3人減少し、0人となった。
- ・令和2年度は、企業主導型保育施設（定員19名。地域枠9名）の開所などがあったものの、かわね保育園の定員減（20人減）により定員数は1名の減となった。
- ・保育所等にはできる限りの受け入れを要請し、入園申し込みに対して2次選考を行い個別に対応するなど、きめ細やかな入園調整に努め、待機児童をゼロとすることができた。
- ・少子化等の影響による保育所等の申込者数が横ばい又は減少傾向になりつつある。

2 待機児童の状況等

(1) 保育所等の待機児童数の状況 (単位：人)

区分	R2. 4. 1(a)	R3. 4. 1(b) (暫定)	増減(b-a)
待機児童数	3	0	▲3

(2) 申込児童数の状況（4月入園希望児童。継続児童を含む） (単位：人)

区分	R2. 4. 1(a)	R3. 4. 1(b) (暫定)	増減(b-a)
申込児童数	2,150	2,116	▲34

(3) 年齢別待機児童数 (単位：人)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R3. 4. 1(b)	0	0	0	0	0	0	0
R2. 4. 1(a)	0	2	1	0	0	0	3
増減(a-b)	0	▲2	▲1	0	0	0	▲3

(4) 保育所等の施設数等の状況 (単位：箇所、人)

区分	R2. 4. 1(a)	R3. 4. 1(b)	増減(b-a)
保育所等数	31	32	1
定員	2,114	2,113	▲1

(5) 今後について

本年度も、5月に企業主導型保育施設（定員27名。地域枠13名）の開所を予定している。